

エクステリアビュー 夏号

EX.VIEW

EXTERIOR
VIEW
2009・Vol.39

INDEX

2009年 夏号・Vol.39

1-4
勝田無一のガーデン講座3

5-16
事例ノート

17-18
スーパー御庭番の達人たち

19-22
2009年 新商品展示会
速報Report



砦の中に小宇宙をつかって “ビールで夕涼み”の開放感を楽しむ

ガーデナー建築家・勝田無一さんが提案する「囲いの建築」は、建物の外壁を塀にしたり、敷地全体を大胆に囲って外からの視線を遮断して家と庭をつなげるという考え方。囲いの建築での快適な庭ライフを紹介しながら光の取り込み方、階上庭園のつくり方などを教えていただきます。

庭の緑や風を楽しみたいくて、大きな窓のついた開放的な家建てたのに、道路からまる見えで落ち着かず、結局窓にはいつもカーテンがかかったまま、庭で過ごすこともなく……そんな残念な住まい方をしている方は決して少なくありません。そこで私が考案したのが「囲いの建築」でした。中途半端なフェンスでなく、半透明なポリカーボネートなどで、2階までの高さのある塀をつくり、敷地全体をぐるりと囲ってしまう。あるいは建物の外壁自体を塀にして、テラスなどの外部空間ごと包み込んで

でしまう。とくに土地が狭くプライバシーも保ちにくい都会で快適に住まうためには、砦を築き、内と外を一体化させた小宇宙をつくる必要があるのではないのでしょうか。こうして設計した「囲いの建築」の中では、みなさん本当にリラックスして暮らしています。たとえば風呂あがり裸で中庭テラスに出て、ビールを傾けながら夕涼みだってできます。外からの視線を遮断したうえで、家と庭をつなげれば、周囲に気をつかわずに戸外の開放感を味わうことができるのです。



勝田 無一 (かつた・むいち)
建築家・造園家
1951年 静岡県出身。
1974年 東洋大学工学部建築学科卒業。
1983年(有)創設計設立、代表。
住宅・マンション・施設店舗の設計から、造園・ガーデンデザインの設計まで、「庭と家作り」をテーマに活動。
著書「私の設計願末記」創設計、「人気ガーデナーのガーデンデザイン」世界文化社、住宅雑誌等掲載多数。

PLAN 2

高さ4mの明るい塀で敷地を囲い
庭と室内を開放的につなぐ T様邸

光を透過する半透明のパネルで、敷地のまわりに塀を巡らせたダイナミックなプラン。塀は2階までの高さがあるので、道路や隣家からの視線が遮られ、落ち着いてくつろげる明るい庭が出来ますし、家の窓を大きく開けて室内と庭をつなげることができます。塀は上に抜けているので、建ぺい率も関係なく自由に設置できます。空の青さを手中にするプライベート・ガーデンは、都市型住宅の「外」を楽しく棲みこなすライフスタイルの提案です。



高さ4mのポリカーボネートの塀を巡らして敷地を囲ったので、明るさはそのままに、まわりの視線を気にせずにくつろげるプライベートガーデンが完成。

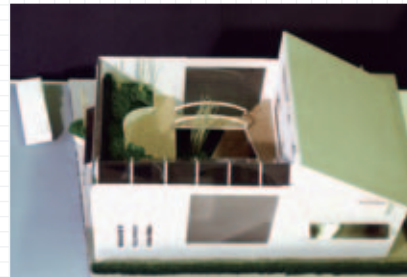
土間空間の一角に設けられたインナーガーデン。坪庭として和室から眺めるのも風情があります。

室内→土間空間→庭という3段階の空間が、ゆるやかにつながっています。どこにいても外を感じられる開放感が心地よい。



家の外観。明るい半透明の塀なので、高さがあっても圧迫感や閉鎖感はありません。

PLAN 1



付近の建物の高さを調査して囲いの壁の高さを決めたので、のぞかれる心配もなし。

ガラスブロックで光を入れて
視線・騒音を遮る都会のリゾート K様邸

前後左右が立て込んだ住宅街。横がだめなら上に庭をつくらう、ということで、階上にルーフガーデンを設置。建物はシンプルな箱形にして、壁自体が塀の代わりになるように設計しました。壁面の一部にはガラスブロックを組み込んだので、光を入れながらも視線は遮り、壁で囲むことで騒音もかなり防いでくれます。2階の斜め屋根の下にリビングダイニングをつくり、庭に向かって大きな窓を取ったので、隣家を気にせず窓を開け放ち、光や風を感じて暮らせます。



シンプルな外観のアーバンコートハウス。ガラスブロックの内側には、都会のリゾートが隠れています。



リビングダイニングから庭に向けて大窓を設けた開放的な間取り。三角トップライトのバスルームからタオル一枚で夕涼みも。

そこが知りたい!

塀の素材は？
風はどう抜けるの？

A 素材は、ここではポリカーボネートを使いましたが、FRPも使います。ポリカーボネートは高級感があるんですが高価なので、少しお値段の安いFRPを採用することが多いですね。また、防火規制のある地域では、プロファイリット・ガラスを使います。4mもの塀が立っていると風通しが悪そうですが、ある程度敷地が広ければ、風は自然に抜けます。狭小地の場合は、風を抜くために、パネルとパネルの間を少しずつ開けて張るといった工夫をします。



土間と庭は大開口で一体化。塀が外からの視線を遮っているのに、これだけ開いていても落ち着けるのがうれしい。

PLAN 3

開放感のあるバスタイム
立体テラスで35坪が広々空間に M様邸

狭小地でも開放的なエクステリアのある住まいはつくれます。35坪の敷地を庭ごと囲い込んだプライベートシェルターは、光と風は通しても視線はシャットアウト。リビングは日当たりのいい2階に設けたので、インナーテラスを眺めおろす立体的な景観を楽しめます。2階テラスの床には光の透ける素材を使ったので、階下は洗濯干し場にも。そして、なんといってもユニークなのがバスルーム。窓の外のテラスには水槽が置かれ、金魚を眺めながらのバスタイムを楽しめます。



「金魚を眺めながら入浴したい」というご希望がかなったバスルーム。大きな窓の外にはテラスガーデンと水槽が。



2階テラスの床が光を透過するため、その下はこんなに明るい。雨に濡れないので洗濯物干し場として重宝。

2階テラスはまさにアウトドアリビング。左の折戸を全開すると、室内リビングともつながって開放的なつろぎの場に。



1階のインナーテラスには土を入れて木や植物を植え、緑豊かなガーデンに。大きな水槽がアクセントになっています。

そこが知りたい!

安全な害虫よけの薬を教えてください!

A インナーテラスガーデンには土も植物もあるので、どうしても虫が発生します。でも室内とつながっているから殺虫剤は使いたくない。そこで家庭で簡単につくって安全性の高い、生葉の害虫よけをご紹介します。

♣唐辛子を使う…両手に山盛り程度の刻み唐辛子と月桂樹を2リットルの焼酎に1週間漬ける+醸造酢+添着剤として植物油原料の粉石けん少々。濾過して霧吹きで散布。さまざまな病虫害に効果があります。

♣コーヒーを使う…飲んだ残りをスプレーするだけで、カフェインを嫌うナメクジを撃退。

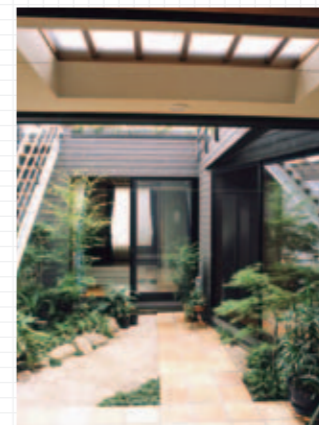
狭い庭も周囲を囲み、内部と開放的につなげることで、広々とした生活空間に。家の外側にもう一つ「外の部屋」をつくる感覚です。奥は2階テラス。

PLAN 4

1階中庭+屋上庭園
2つの庭を楽しむ都市型二世帯住宅

S様邸

上下住み分けの二世帯住宅だからといって、2階世帯の庭をあきらめることはありません。たとえばこのお宅では、親世帯は1階の中庭に面し、子世帯は2階の屋上庭園に面して、それぞれが庭を取り込んだ開放的な暮らしを楽しんでいます。なおかつ、1階の中庭は吹き抜けになっているので、上下階の空気をつなげ、お互いのほどよいコミュニケーションの場としても活躍。屋上庭園は周囲に採光折板を張りめぐらし、視線をシャットアウトした安心の都市型プライベートガーデンです。



親世帯の庭は、和を意識したつらいで落ち着いた雰囲気。

1階の親世帯の中庭は、吹き抜けになって2階の子世帯とつながっています。庭を通じて広がり共有し、コミュニケーションがとれます。



2階の子世帯LDKからデッキテラスと屋上ガーデンを見る。トラス木組みの大きな屋根架構が戸外との心地よい一体感を演出。



中庭の吹き抜けをはさんで広がる2階のデッキテラスは、床に光の透けるグレーチングを採用して階下を明るくしています。手前がLDK、奥が屋上ガーデン。

そこが知りたい!

階上庭園には軽い土が必要?

A 2階や屋上などで使う土は、軽いに越したことはありません。とくにこのお宅は木造なので、土の重さには神経を使いました。水の重さを蓄積しない排水性と適度な保水性をあわせ持つ土の配合が肝心。また、底部の目づまりしない排水層が大切です。使用しているのは杉の皮やヤシ殻などが入った比重0.3の有機系の土。少し黒土を混ぜたり、自動灌水装置をつけたりして保水性を高めています。写真は屋上庭園の植え込み。中木程度はじゅうぶんに植栽できます。今は苗木ですが数年後には見ごたえのある木になるでしょう。



採光パネルのスクリーンを使った囲いの建築。外から見るとシンプルな箱形の住宅です。



事例ノート. CASE 1

三重県 津市
 (有)建築工房テイク・ワン 様

建物と外構をトータルに設計するため
 お客様の要望にきめ細かく応えられるのが強み
 安全性にこだわり基礎には予算をかける



代表取締役
 船木英一様

建築会社に勤務後、平成7年に住宅の建築設計・施工を主たる業務とする当社を創立。実績として年間数十棟を手がけています。当初から住宅建築が9割、外構は1割程度の“建築寄り”の会社で、建築した家の外構プランを請け負うことはあっても、外構だけの仕事をすることはありません。建築士の目から見たエクステリア業界は、驚くことばかりでした。エクステリアの業者さんも玉石混淆…。今まで建築関係者は家にしか目が向かず、外まわりに無関心すぎたのだと思います。それだけに、建築士ならではの庭づくりに取り組んでいきたいと思っています。

当社の外構プランは、予算が高めだと言われます。しかし、きちんとベースのコンクリートを打ったり、基準法にのっとって鉄筋を入れるなどすれば、それ相応の費用はかかります。それは長く安全に使うために必要なことで、譲れない部分なのです。ですので、お客様には安全性や強度など、またそれともなう費用についてしっかりご理解いただいたうえで着工するよう心がけています。

われわれの強みは、建物とエクステリアをトータルに計画できること。どこに車を置きどこから家に入るか、この窓から眺めるならどこに木を植えたら美しいか、浄化槽の位置はどうするか、などと、家と外まわりを連動させながらお客様の要望にきめ細かく応えていくようにしているので、より適切な生活提案ができるのです。

そのためお客様の満足度も高いようで、追加やリフォーム、ご紹介など、リピーターのお客様が非常に多いのも特長です。スタッフは6名。私を含めた男性4名は、営業から現場管理までひとつの物件を一貫して担当します。それにキャドのオペレーターの女性1名、経理の女性1名です。下請けの職人は3チームあって、技術が高くていねいな仕事をしてくれます。デザインについては、それぞれの地域性を大切にしています。伊勢なら伊勢の土地に合う和風住宅、というふうに。これからも、その土地の街並みに調和したうえで、個性が発揮できるような家やエクステリアをつくっていききたいですね。



前列左から青木実乃里様、刀根宏文様、船木様、後列左から夏池賢様、濱地美幸様、橋本健様。意欲満々の精鋭スタッフです。

当社の外構プランは、予算が高めだと言われます。



【エクステリア全景】
 現代和風の建物にM.シェードやJ.モダンの門扉が美しく調和。長いアプローチは、滑りにくい玄晶石風タイルを使用。門を入ってもさらに続き、奥行き感を演出。



【カースペース】
 ダイナミックなM.シェード。軽快なシルバー色と透明屋根の明るさで、圧迫感がありません。間に柱がなく敷地をワイドに使えます。



【門扉】
 鋳物の重厚感に円形モチーフが新鮮なJ.モダンの門扉。



【坪庭】
 ご両親のリビングから眺められるようにつくられた坪庭。植栽のエリアを区切ったので、草取りなどのメンテナンスも楽です。



【坪庭から玄関を見る】
 J.モダンのフェンスを縦格子として使用。さりげない目隠しに。



【玄関奥の坪庭】
 玄関の奥のはめ殺し窓から坪庭が眺められます。「京都の旅館のように」とのご要望で竜安寺の石庭風に。



【庭側からのアプローチ】
 庭から門を見たところ。門をはさんでアプローチがまっすぐに延びています。フェンスはカムフィを採用。

**さすがプロ！
 満足度120%です**

「家も庭もすべておまかせしましたが、さすが餅は餅屋。M.シェードは中に柱が1本もなくスッキリ！近所でも評判で、おかげで豪邸だといわれています。」(M様談)

笑顔のお施主様

ダイナミックなM.シェードと端正な和モダンの調和
 M様邸

住まいの全面建て替えを機に、敷地内で別棟だったご子息世帯も一緒に二世帯住宅に。和風が主流の土地柄で、現代和風にとのご要望に応じて、すっきりとしたデザインに仕上げました。アプローチの距離をじゅうぶんに確保して奥行き感を出し、懐の深い落ち着いたたたずまいに。



【物置兼物干し場】
 勝手口の奥には奥様のご要望でオイトックを設置。物置としてだけでなく、雨の日の洗濯物干し場としても重宝。勝手口の扉はカムフィを採用。

【駐輪場】
 サイドヤードにはマイリッシュで屋根を設け、駐輪場に。片支持なので柱が邪魔になりません。



【門から玄関へ】
 門を入れてゆるいステップを上がり、直角に折れると玄関。マイリッシュの手摺りをつけた人にやさしい設計。



【勝手口に屋根】
勝手口にはグッドエパーで屋根を設け、子どもたちの駐輪や物干しなどに活用。側面パネルは道路からの視線を遮るため。扉はカムフィの門扉。

【エクステリア全景】
要所要所に屋根や囲いを設けて機能性を高めた外まわり。カーテングートとフェンスは子どもが飛び出さないように設置。カーポートはカムフィ、2階バルコニーはグランドシェビアを採用。

小さい子どもたちに快適・安全な外まわり H様邸

「子どもたちが安心して遊べるエクステリアに」とのご要望で設計したH様邸。庭先にはバーベキューをしたり遊んだりできるテラスを設置し、道路へ飛び出さないようにカーテングートとフェンスでさりげなくガード。勝手口には駐輪場も設け、機能・快適・安全性すべてにご満足いただいています。



【庭先にデッキ】
リビング前にひとと木でデッキを設置、室内と庭をつなぐ遊び場に。庭には砂利を敷いたので防犯にもなるし、草むしりの手間もいりません。



【カースペース兼アプローチ】
アプローチに設置したフラットなマイリッシュカーポートは、シンプルモダンな外観にぴったり。機能ボールもマイリッシュ。

内外装&庭の全面リフォームでシンプルモダンに K様邸

古い住宅地に建つK様邸は、住まいを全面リフォーム。生い茂る樹木は思い出のヤマモモを1本残してすべて撤去し、すっきり広々とした庭に。ファサードは直線的なカーポートや玄関庇を設置して、シンプルモダンに大変身しました。



BEFORE



【玄関の庇】
玄関口の庇にグッドエパーを採用。カーポートがすぐ脇まで来ているので、車の出入りや郵便物の出し入れも滞りません。



【すっきりした庭】
ヤマモモ1本を残した庭。砂利を敷いたので面倒な草取りからも開放されました。リビング前に設置したプレオーレは、サンルームや物干し場として活躍。

事例ノート. CASE 2

山梨県 甲斐市
(有)アントン・ランドデザイン 様

広く景色のいい展示場にエンドユーザー様を呼び込み 「お客様満足度ナンバー1」をめざして 営業+設計+現場が責任をもって取り組む

ホテルマンから営業に転身し、どうせ売るなら高いものをとハウスメーカーに勤務。その後エクステリア部門の立ち上げに協力して、しばらくそこでやっていたが、ひとつのメーカーにとられず、さまざまな提案をしたいと考え、10年前に独立しました。
まずはハウスメーカーに営業に行き、いただいた物件は翌日に図面を提出するようにしました。そのスピードが好評で、7社と取引することに。そのうちお客様からの紹介やリフォームが増えていき、5年後にはハウスメーカー7：エンドユーザー3の割合になりました。
その流れを加速させ、エンドユーザー様をさらに増やしたいと考えて、2年前に展示場をオープンしました。1000坪の広さと森に隣接した環境を生かして、自然なイメージの庭を提案。通りすがりに目を留めて、「何屋さんだろう?」と立ち寄るお客様も多いですね。
広報活動は、TVスポットCM(山梨放送)とHPが主体。とくに最近はHPをきっかけに来られるお客様が増えています。
スタッフは営業・設計・グリーンアドバイザー3名にて兼務、現場3組で、設計は私が担当しています。実績は月に6~8件です。
当社のモットーは「お客様満足度ナンバー1」をめざすこと。デザイン提案、営業、施工、すべての面で喜んでいただけるように、各担当が全力で取り組んでいます。山梨は人と人とのつながりが密で、口コミ情報が強い土地。



ホームページに施工例などを紹介。お客様の注目度が高いので、今後も力を入れていく予定。
<http://www.anton.co.jp/>

とくに悪い情報はすぐに広がります。ですから、信頼・満足をいただけるように、すべて自社スタッフで責任をもって完成させています。
現在ではエンドユーザー様の割合が7割まで増加。そのうちOBのお客様からの紹介が2割ですが、それを5割にするために、アフターサービスの充実をはかっています。OBのお客様に「アントンフレンド倶楽部」に加入していただき、年に2回「感謝デー」のイベントにご招待。こうして展示場に二度三度足を運んでいただくことで、次の仕事につなげたいと考えています。



オフィスに併設されたデッキにて語る代表取締役/チーフデザイナー五味隆様。背後に広がる展示場の景色が美しく、こんなところで打ち合わせをしたら夢がふくらみそう。



展示場内のオフィス。お客様の相談室もあります。



営業部係長
宮澤雅人様

現場を知る強みでキメ細かい営業 お客様が納得されるものを

現在は営業ですが、職人出身なので現場も知っているのが強みです。たとえばD様邸(P.10参照)でも、塀壁の高さや、丸いくりぬきの位置・大きさなど、現場でお施主様にデザインの趣旨をご理解いただき、ベストの位置を決めました。設計、営業、現場のそれぞれが力を出し合い、お客様が納得し満足していただけるものをつくり続けたいですね。

「アントンフレンド倶楽部」で 顧客サービス

工事完了後のお客様には「アントンフレンド倶楽部」に加入していただき(無料)、アフターメンテナンスや建材・雑貨・植木などの特別価格販売、各種イベントへのご招待などのサービスを行っています。



モデルガーデン展示場

敷地1000坪！
県下最大級のスケールで
暮らしを体感、
楽しい庭づくりのヒントに

奥にある自然の森林が借景になって、
展示場を美しく盛り立てています。



モザイクタイルの美しいパターンや、
床材などのバリエーションを紹介。

池や川、噴水などもつくり、水がもたらす癒しの庭を提案。



モザイクタイルや
ガラスブロックを
使った門まわりの
デザイン提案。

葉ずれの音、
風の匂い、
水の流れる感じが
感じられる
憩いの場を



繊細なアーチと株立ちの木々でやさしく彩られたアプローチ。



ひとと木のデッキでアウトドアリビングの提案。オリジナルの円形窓が印象的。



バーゴラ付きベンチに円形テラス、楽しいバーベキューコーナーの提案。

光と影の饗宴！夜の灯りの演出も提案

夜は別の表情を見せるひとと木のデッキ。
ナイトライフの提案に。

あちこちに設置された照明が、夕闇とともに点灯して
雰囲気增添了。



フットライトやブラケット、ブロック埋め込み照明などを要所に配置。

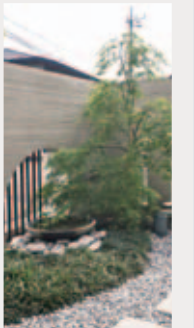


AFTER

お客様の声

大満足！リフォームしてよかった

「私たちの希望をていねいに聞いてくれて、塀の高さも現場で何度も検討して決めました。おかげですべて満足！とくに円形の窓と和のコーナーがお気に入りです」(D様)



【円形の窓】
奥様が一番気に入っている和のコーナー。ご近所の評判も上々です。

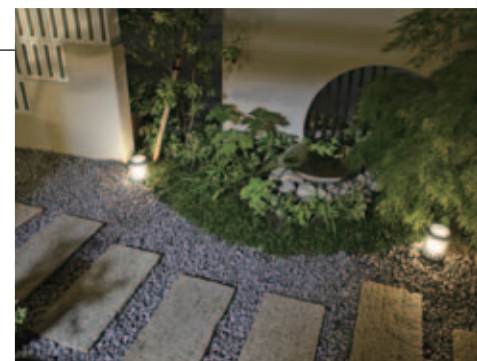
【エクステリア全景】
うっそうとしていたコニファを取り去り、すっきりしたファサード。低い塀壁やアクセントの縦格子などを配して、見せる／隠すのバランスが絶妙です。手前には駐車スペース、左奥には駐輪場も設置。

BEFORE



コニファの繁るファサードをおしゃれな和風にもリフォーム D様邸

築12年の家は、庭に植えた針葉樹が育ちすぎて視界を遮っていました。そこで木を取り去って低い塀壁を設け、セミオープンなファサードに。ご希望だったカースペースと駐輪場も設置。庭はモダンな和風にしつらえたので、落ち着いてくつろげる場になりました。



【照明の演出】
フットライトや樹木に当てるアップライトで庭をムードに演出。「夜、庭を眺めるのが楽しみになりました」と奥様。



【庭】
塀壁の内側はこんな落ち着いた雰囲気に。スリットや円形窓があるおかげで圧迫感もありません。両側からのアプローチの敷石が奏でるハーモニーが楽しい。



【左からのアプローチ】
右からだけでなく、こちらからも出入りできるので、駐輪場に自転車を駐めてからの動線もスムーズです。



【右からのアプローチ】
玄関前は、道路からの視線が入らないように塀壁で目隠し。アプローチを斜めに湾曲させて距離をつくっています。

事例ノート CASE 3

宮城県 黒川郡
(株)大建工業 様

「自宅をつくる」気持ちでお客様に接し 職人も直営で引き渡しまで一貫して責任を持つ



代表取締役
大宮健治様

外構関係の会社勤めを経て独立、3年後の1985年に会社を設立。当初はハウスメーカー100%で仕事をしていましたが、ほどなく取引が15社ほどに増えて忙しくなりすぎたため、1社だけに絞って今日に至っています。

ハウスメーカーとの関係は、こちらがやりたいように自由に提案させてもらっています。それは、当社の提案力とお客様への真摯な対応が評価されてのことだと自負しています。「自宅をつくるつもりで、お客様の身になって考える」ことを社是としてきましたから。

スタッフは、営業3名、現場1名、設計2名、経理2名。さらに直営で職人を20名抱え、見積もりから引き渡しまで一貫して責任を持って行っています。そのせい

か引き渡し後もお客様との関係が良好で、リピートや紹介を結構いただきますね。それもあって、現在ではハウスメーカー7:エンドユーザー様3ぐらいの割合になり、個人のお客様が増えてきています。

実績は月に40件ほど。広報活動は一切してきませんでしたが、長年の信頼が業績に結びついているのだと思います。

今後は次の世代にシフトしていくために、若い力で会社の活性化を進行中。最近のハウスメーカーのお施主様に20~30代が多いこともあって、打ち合わせやデザインは、常務を中心とした若いスタッフにすべてまかせています。



左から、大宮吉博様、竹中のみ子様、大宮健治様、坂野清美様、大江隆行様、高橋ユリ子様、坂野由隆様。

プラスアルファの提案を仕掛けて 若いお客様の“こだわり”実現をお手伝い 宅地造成のランドスケープづくりも



常務取締役
大宮吉博様

父の会社に入社して18年ですが、エクステリア業界は15年前、10年前と比べて様変わりしてきたのを感じます。現在のお客様はわれわれと同世代で、個性やこだわりを大切にしています。そういうお客様に心がけているのは、プラスアルファの提案。打ち合わせを進める中で、たとえば照明の演出を入れるなど、こちらから仕掛けるようにしています。気に入っていただけるとたとえ予算が10万~20万円アップしても、決まる確率は高いです。

さらに、最近では、宅地造成の分譲地を数十区画単位で請け負い、ランドスケープを計画するという仕事も増えてきています。一戸一戸のエクステリアに個性を持たせながらも、街並み全体としての統一感や美観、環境への配慮などが必要なので、非常にパワーのいる仕事ですが、環境をつくっているという充実感がありますね。

今後の方向性としては、エンドユーザーのお客様の比率をもっと高めていきたいです。そのためには、お客様へ向けて何か発信していかなくてはと考えていて、フェアなどを企画して広告を打つなど、新たな取り組みを模索しているところです。

環境を共有できるグレードの高い街並みに
M社様ニュータウン

250戸ほどのニュータウンの約半数の外構プランを担当。ブロックごとに敷地の形状や条件が異なるため、それぞれの状況に合わせたプランニングを求められました。一戸一戸に個性を持たせながらも、街並み全体の統一感と緑豊かな環境づくりを意識して設計。人と自然が共生できる、グレードの高い街づくりが実現しました。

センチュリーブロック

街の中心を南北に通るメインストリート。
シンボリックな場所として、
訪れる人をやさしく迎え入れるように演出。



[メインストリートの家並み]
街路樹と建物がリズムカルに続く美しい景観です。



[歩・車分離システム]
歩行者は手前の歩道から、車は奥にある道路から敷地にアクセスする、アメリカの高級住宅地のような“歩・車分離システム”を採用。美観と機能性を兼ね備えたエクステリアです。

A、Cブロック

道路との高低差が少ない平坦なブロック。シンプルなオープンファサードに、道路からの視線を遮る工夫をほどこしています。



[樹木と縦格子で仕切り]
要所要所に樹木をあしらってアクセントにし、ファサードから庭へのアプローチは垣根と縦格子で仕切って、庭を奥まった雰囲気。



[アプローチを目隠し]
アプローチを折り曲げ、生け垣と樹木で囲むようにして、道路からの視線が届かないように、玄関までの距離をつくっています。



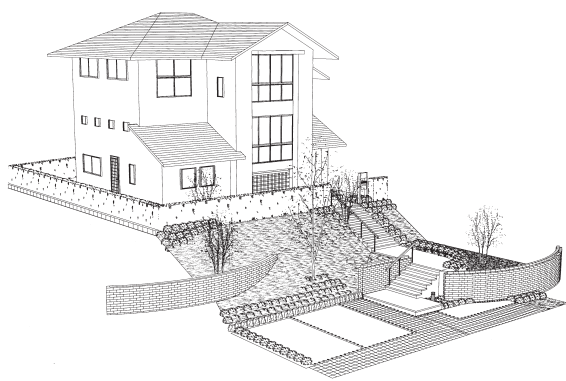
[門柱+シンボルツリー]
敷地が広々と使えるフラットなオープンファサード。玄関前に門柱とシンボルツリーを配置して、玄関口をさりげなく目隠し。シンプルな外構のアクセントにも。



[生け垣でセミクローズ]
低めの生け垣を一部に設けてファサードをセミクローズにしつつ、落ち着いた雰囲気。

Eブロック

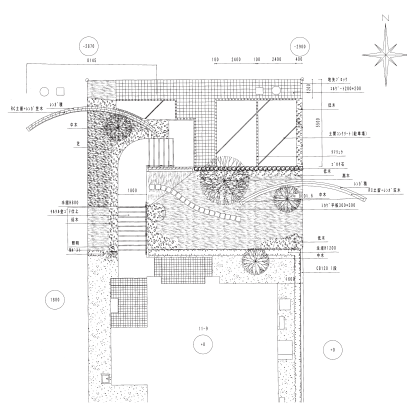
最も高台に位置するブロック。敷地と道路の高低差を利用して、ダイナミックなエクステリアを演出。



【高低差を美しくデザイン】
道路脇にはカーブスペースを設置。斜面には緑をふんだんにあしらひ、レンガや石などで変化をつけて、メリハリのある美しいファサードに。



【大きな木のある家】
手前に大きなシンボルツリーを設けた印象的な家。外壁に合わせて塀にもレンガを使用し、統一感と風格のある外観に。



【階段アプローチ】
直角に折れ曲がりながら玄関へと続く階段。手摺りもつけて安全性も配慮。階段脇の植え込みが心を和ませてくれます。



【高台に建つ家並み】
それぞれのスタイルや色に合わせてエクステリアをコーディネートし、なおかつ全体でも統一感のある景観に。

事例ノート. CASE 4

宮城県黒川郡
(株)アートエクステリア 様

「まごころ」の伝わる責任設計・施工で ハウスメーカーの孫請けから直請けへ さらにエンドユーザー様の比率増加へと進化



代表取締役
庄子勝彦様

以前は通信会社に勤める技術者でしたが、外の仕事をしたくて退社し、何をしようか考えていたとき、知人のエクステリアの仕事が3ヵ月手伝うことに。だんだん面白くなっていつしか3年経ち、基礎的なことはひととおり修得して、17年前に独立。その後、平成11年11月11日に会社を設立しました。最初はカーポートの組み立てなどから、次第にハウスメーカーの外構を頼まれるようになりました。しかしハウスメーカーの仕事は間に業者が入った孫請けで、お施主様と直接打ち合わせもできず、ただ工事するだけ。そのため、ハウスメーカーに営業に行くなどして、直請けできるように働きかけました。その甲斐あって、当初は孫請けが9割以上だったのに、その後半々ぐらいになり、現在はほとんど直請けに。さらに、ここ2〜3年はエンドユーザーのお客様が急増。現在、ハウスメーカー7：エンドユーザー3ぐらいになっています。

一般のお客様が増えてきた理由ですか？以前から「お施主様の顔が見えなくても、そのお宅で必要としていることをよく考えてキメ細かく提案する」ようにしていたからでしょうか。数年前から行ってきたエクステリア相談会やラジオのスポットCMも、効果が出てきているのかもしれない。

スタッフは設計5名、営業3名、現場の職人10名。職人も社員として、自社ですべて目がいき届く責任設計・施工を行っています。実績は月に20件ほどです。モットーは「まごころを伝える」。プロである以上、プラン上手・施工上手は当たり前。そこにプラスアルファの“気持ち”を込めて、お客様と心を通わせたいのです。そのためには、とにかく相手の話をとことん聞き、本音の思いを汲み取って、満足していただけるものをつくろうと努力しています。

今後はエンドユーザー様の比率をさらに増やして、5：5ぐらいにするのが目標。そのために、1人1人のお客様の個性を大切にしたいよりいいプランニングを心がけたいですね。

ゼロからスタートして設計部の要に 「主婦の目線」で使い勝手にこだわる

最初は経理でしたが、会社設立後、「設計をやってくれ」と言われ、「無理でしょ」と思いましたね(笑)。それから1年ほど研修を受け、設計を担当して8年になります。女性の目線や主婦の生活感を持っているのが強みで、使い勝手や仕上げの美しさにはとことんこだわります。最近のお客様は知識も豊富で、刺激をいただきながら、それをまた仕事に生かすようにしています。



専務取締役
庄子いづみ様



オフィス外観。暖かみのある雰囲気なので、お客様も入りやすいと好評です。



カーポートにはM.シェードとU.スタイルを使用して参考に。



室内は木の梁が印象的な和みのインテリア。仕切りがないので広々としていて、オープンに意見を交わせます。



チームワーク抜群のスタッフの皆様。左から庄子勝彦様、有住洋旭様、志齊さとみ様、石山勇子様、熊谷博美様、佐藤徳昭様、庄子いづみ様。最後尾に控えるのは仙台支店・澤田。

パーゴラ付Uスタイルで駐車場+アプローチをC様邸

ファサードの2台分の駐車場に屋根を探していたC様。他社のカーポートも検討しましたが、Uスタイルの敷地対応力が気に入られてリフォームを決定。鉢などを置いていた奥のスペースも一緒にして、UスタイルでL字のカースペースを設置しました。一部にパーゴラを組み込んだことで、アプローチらしい雰囲気もつくれて大満足とのこと。



【奥から道路を見る】
以前は鉢がたくさん置かれていた場所を整えて1台分のカースペースに。床材は透水性のブロックを使ったので、雨の日でも足元すっきり。



【エクステリア全景】
奥の塀を取りはらい、カースペースを手前に2台、奥に1台分確保。敷地と建物の形に合わせてUスタイルをL字に設置しました。屋根の一部をパーゴラ仕様にしたので、爽やかなアプローチにも。



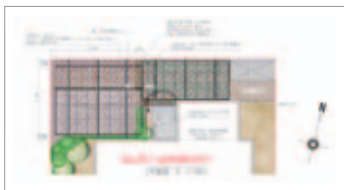
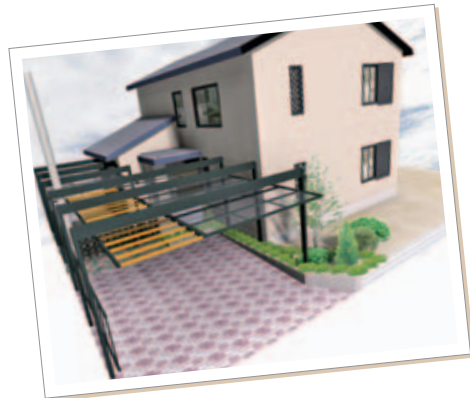
【敷地対応力①柱の位置が自由】
既存のレンガ製のプランターボックスを巧みによって柱を設置。柱が邪魔になりません。



【敷地対応力②梁を飛ばす】
梁を延長して柱を植え込みに逃がしているの、邪魔にならず、車の出し入れもラクラク。



【敷地対応力③建物に合わせて凹凸】
玄関部分の出っぴりをうまくよけて、Uスタイルの屋根をL字に接続。車から玄関まで濡れず出入りできます。



【アプローチ～外観全景】
山小屋風の洋館の雰囲気に合わせて、天然石乱張りのダイナミックなアプローチを設置。



【壁泉のある洋風庭】
レンガでつくった壁泉がフォーカルポイントになって、落ち着いた風格のある庭に。奥の木々が芽吹くと、雑木林のような自然な庭になります。



【水仙の群生】
球根が増えて野趣豊かに咲き乱れる水仙。ベンチでくつろぎながら花々を眺めるのも楽しい。



【庭の全景・俯瞰】
右が和風、左が洋風になっていて、和と洋を小川がつないでいます。夏期には水の流れが楽しめる癒しの庭に。

もとの木や石を生かし、壁泉のある自然な庭にH様邸

父の代からの家と庭を全面建て替えて。登山が趣味で建てた山小屋風の家に合わせて、野趣のある自然な庭を、というのがH様のご希望。庭の木や石はもともとあったものを極力生かしました。地下室→池→川→壁泉と水が循環し、広い庭のアクセントになっています。(撮影時には水はなし)



木の種類やレイアウトなどを何度も何度も話し合っ
て決めたので、図面にはこんなに書き込みが。



【和の坪庭】
裏庭は一角を囲い、六方石やつくばいをあしらって和の坪庭に。

スーパー御庭番の達人たち…⑨

御庭番ユーザー様のハイレベルな仕事ぶりをレポートするこのシリーズ、今回は、社長が全幅の信頼を置くベテランプランナーの提案テクニックと名コンビを組む御庭番歴9カ月の“達人見習い”をご紹介します。

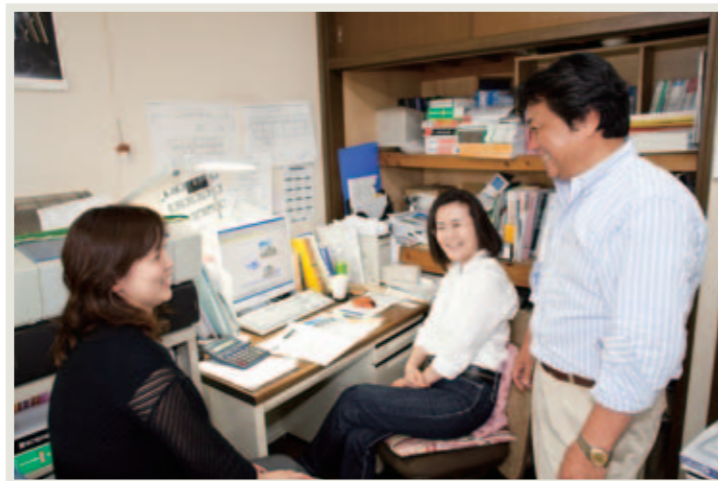
年間400件、毎日3~4パターンのプランを作成 手早く質の高い提案をつねに考えます

キャド歴は8年、そのうち御庭番は3年ほどです。御庭番のメリットは、なんといっても操作が簡単なこと。コマンドが少ないのでわかりやすいんです。ですから、キャドを使ったことのない初心者でも入りやすいと思います。そして、手早く一定のレベルのものができるのも魅力ですね。ほとんどのものは御庭番で描けますが、オリジナル製品や、屋根つきの建物などは、いろいろな部材を工夫して作成することもあります。また、たとえば植物が好きなお客様に、ハーブや果樹をふんだんに描き込んで提案するなど、お客様の心をつかむ演出も心がけています。当社は新規物件が年に400件を超え、1件ごと

に描き直しも含めてかなりの数の図面・パースを作成しています。たとえばこのお宅では（と書類の束を見せて=右の写真）13~14パターン描きましたが、そのぐらいいは珍しくありません。ですから毎日平均3~4パターンは描いています。そのため、どうしても余分な時間をかけずにデザイン性も機能性も高いプランを提案できるか、つねに考えています。基本的な部分はある程度パターン化して、バリエーションをたくさん用意し、それを組み合わせるなどして手早く作成、独自のアイデアをプラスアルファして仕上げる…というふうに。こういうことは手描きではどうにもなりません、御庭番は頼りになりますね。



スーパー御庭番の達人
（株）丸辰 工事部 マイエクステリア
二級造園施工管理技士
グリーンアドバイザー
唐澤みどり様



御庭番のリアルな提案で“攻め”の営業を！

御庭番を導入したのは6年前。最初は私が使っていましたが、初心者の私にもほどなく使いこなせるようになりました。御庭番のおかげで提案にリアリティが生まれ、“攻め”の営業ができるようになって、ハウスメーカーの信頼も得られました。その後設計チームをつくり、御庭番を2台導入。彼女たちのプラン力には全幅の信頼を置いています。御庭番を活用することで、仕事の量も質も高まってきていますね。



代表取締役
柴田 裕様

達人見習い

即実践のスパルタで1ヵ月で習得 早く達人のようになりたい！

未来の達人
CADオペレーター
千葉順子様

3Dのキャドは御庭番が初めてで、現在使い始めて9ヵ月です。研修とか練習といった期間がなく、使いながら覚えなさいと“即実践”で(笑)。なので、実際に図面を描きながら、わからないことはそのつど隣にいる達人に聞いて作業しました。おかげで1ヵ月後にはほぼ一人で描けるようになりました。私はまだ達人的な技術はありませんが、たとえばアールのついたスロープがパースでうまく表現できないとき、目線を少し上からに変え高低差が目立つように工夫するとか、そのほか美しく見える光の当たり具合など、効果的な演出法には気を使っています。



達人のテクニック

その1

複雑なデザインの屋根は 勾配を計算してつくる

最近屋根のコマンドもあるんですが、普通の切妻などシンプルなものしかつくれません。なので、複雑な屋根は勾配を計算しながら1面ずつつくります。以前のキャドでつくったの思い出して、「このへんでいけるかな…多分いけそうだな」と様子をみながら仕上げます。



達人のテクニック

その2

オリジナルの機能門柱は 土間で角柱+製品を組み合わせて

柱は土間を使って1500mmの高さの角柱をつくり、間にポストをはさみます。ポストは縦型ポストの製品から取っています。インターホンの部分は、やはり適当な製品からインターホンを抜き出して、のっぺりしないように茶色で濃淡をつけてはめ込みます。



達人のテクニック

その4

ブルーベリーやハーブ類を植えて 収穫して楽しむ生活提案を

シンプルなエクステリアは植栽をふんだんに入れて、四季の感じられる風景をつくりたい。このお宅のお施主様は植物がお好きだったので、実りを収穫できるブルーベリーなどの果樹や、ハーブティ用のハーブ類などを植え込んで、見た目だけでなく、料理したり食べたりして楽しめる生活提案をしました。



達人のテクニック

その3

低予算でもセンスよく！ 土間コンを上手に減らすデザイン

たとえば土間コンクリートの面積を減らせば、その分コスト減になりますが、ただ縮小すれば中途半端になったり安っぽくなってしまいます。そこで、車の轍の部分だけコンクリートを打ち、十字に芝生を敷いて、コンクリートの面積を減らしつつ、おしゃれなデザインに仕上がるように工夫しました。

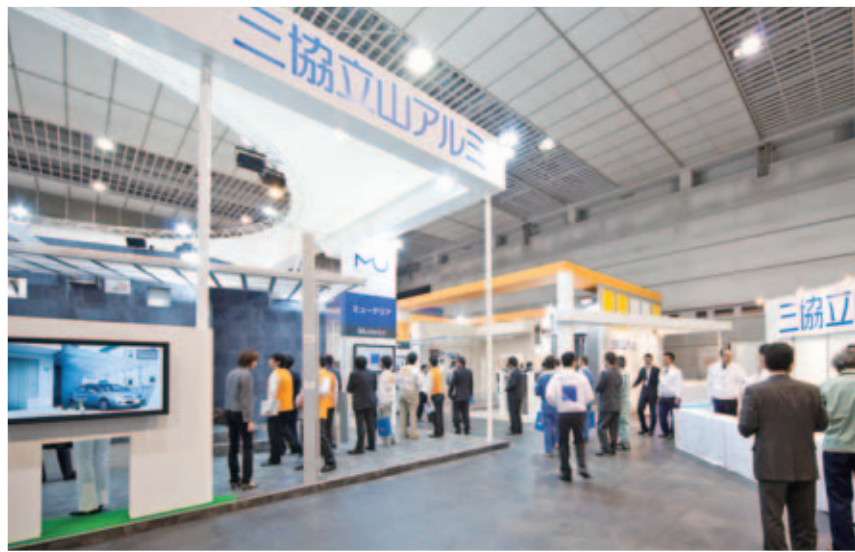


速報! 2009年新商品展示会速報Report

じっくり見て触れる「体感ショーケース」で さらに進化した快適空間を提案!



4月11日の静岡を皮切りに、名古屋(4月16日)、東京(5月8~9日)、大阪(6月11~12日)の4会場で、施工店様・設計事務所様をご招待して、2009年度の新商品展示会が開催されました。時代のニーズに応じて進化した快適なエクステリアの数々を、色分けしたゾーンごとにわかりやすく展示。じっくり見て、触って、楽しんでいただける「体感ショーケース」として、訪れたお客様にも大好評。扉を開けて商品をチェックされたり、担当者に熱心に質問されたりといったシーンがあちこちで見られました。その熱意が会場全体を包み、積極的な商談も盛んに行われ、不況の中ビジネス環境を勝ち抜く意欲にあふれた、大盛況の展示会となりました。



夢を与える新商品と
フェイス・トゥ・フェイスの説明で
厳しい時代と一緒に勝ち残ろう!

エクステリア建材本部
大森本部長の挨拶



経済情勢は厳しいですが、世間がどうあれ、われわれはお客様に「夢を与える」商材を持っています。今年も本当に素晴らしい商品が出揃いました。そして、三協立山はそこに「人へん」をつけます。それは「フェイス・トゥ・フェイス」。営業マン1人1人がしっかりと説明することです。販店様がエンドユーザー様と折衝される時のご参考にしていただければ幸いです。

我々にとってはまさに今日が1月1日、新たにスタートするおめでたい日です。みんなで生き残って「やっぱりよかった、フェイス・トゥ・フェイス!」と言い合えるように、われわれは真剣にお客様と向き合っています。今年も1年間頑張るぞ!という気合いを込めて。



ミューテリア・ゾーン

M.ウォーク

都市型狭小地向けのカーポート
敷地や建物の形状にフレキシブルに対応

「空の下に自在空間」のコンセプトがさらに進化。都市型狭小地向けのカーポートづくりに最適な商品が誕生しました。屋根パネルを380mmピッチと小割りにすることで、細かいサイズ調整が可能に。そのため、たとえばダクトをよけて壁際までびったり設置したり、建物の凹凸に合わせてL字にまわすといったプランが、より自由にできます。お客様の反応も上々で、熱心に質問される姿があちこちで見られました。



階段を上がり、上からM.ウォークの屋根をチェック。大勢のお客様の注目を集めていました。

「すべての敷地に対応」をめざし 試行錯誤しながら開発

都市型住宅のカーポート普及率が低いのは、狭い敷地に対応できるカーポートが少なかったからでした。そこで、さまざまな条件の敷地をカバーできる商品の開発に取り組みました。めざしたのは「すべての住宅に対応できること」でしたが、それは難しく、限度をどこに設けるか、このサイズでいいのかなど思考錯誤しましたが、敷地対応はかなりキメ細かくできるものになったと思っています。お客様からのご意見やご感想を、今後の商品開発に生かしたいですね。



マーケティング本部
エクステリア商品部
商品開発一課
利根川 勝

お客様の声

こんなのが欲しかった! デザインもシンプルで素晴らしい

「都市部は狭い変形地が多く、普通のカーポートは使いにくかったので、こういう商品が欲しかったんです!」

「屋根パネルを現場で組み立てるので、現場アレンジがしやすく、納まりのいい設置ができそうだね」

「これは使えそう。デザインがシンプルで、外観の邪魔にならなくていい」



M.フレイジ

「ひとと木」のデッキ仕様で
さらにフレキシブルな団らん提案を

庭先で外と内をつなぐ半屋外空間M.フレイジ。これまで土間仕様が標準でしたが、新たに人工木デッキ「ひとと木」と組み合わせたデッキ仕様が追加に。提案バリエーションがさらに広がりました。デザイン性と居住性がさらにアップしたとお客様の間でも好評でした。

お客様の声

折戸の高級感が魅力

「ガラスの折戸に高級感がありますね。アコーディオン式の網戸も便利です」

「デッキ仕様はいい! リビングと同レベルにすれば、室内との出入りもよりスムーズになりそうです」



M.シェード

地球環境にやさしく省エネの
太陽光発電仕様を発表

人気のM.シェードには、新たに太陽光発電仕様が登場。M.シェードの屋根面にソーラーパネルを取り付けて、太陽エネルギーによる電力を供給する仕組み。環境にやさしく、光熱費を削減できて、停電のときでも電気が使えるなどのメリットがあります。エコロジーへの取り組みに、注目が集まっています。

お客様の声

エコ商品に期待

「カーポートの屋根を利用するという発想が面白い。屋根の下の明るさが保てるように工夫してほしいね」



マイリッシュ・ゾーン

マイリッシュA

木調デザインなど12タイプ追加
高品質な静音設計も魅力

門扉もフェンスも木調の素材感を生かしたデザインを豊富に追加。シンプルモダン住宅だけでなく、ナチュラルモダンや和風など、さらに幅広い提案ができるようになりました。門扉の開閉音が静かになったのも特長で、お客様が実際に開け閉めして確認する姿も。



お客様の声

木調の風合いがいい!

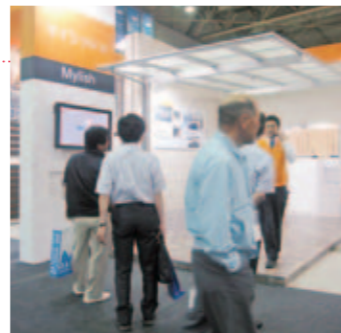
「木調がなかなかリアルで、風合いがいいですね。これだけバリエーションがあると、提案がしやすくなります」

「カーポートのシンプルなデザインが素晴らしい! 前勾配だと、道路からの視線が遮られるので、道に面した部屋でも落ち着きますね」

マイリッシュOK

前下がりの屋根勾配に注目!

業界初の奥行勾配タイプなので、道路からの雨の吹き込みをおさえつつ、室内からの眺めも配慮して設置できます。フラットな屋根ラインがシンプルモダン住宅にぴったりとマッチします。



エクモア・ゾーン

エクモアX

肘で開け閉めできる門扉で住宅スタイルに幅広く対応

生活するうえでの使いやすさにこだわった新しいエクモアX。門扉の取手は肘や腕でも開閉できるので、両手に荷物を持っていても大丈夫。ワイドサイズの親子開き門扉は、自転車や車椅子などもスムーズに入出入りすることができます。



ウォールエクステリア・ゾーン

メニーウェル

バリエーションの追加で提案の幅が広がる

今回、積雪仕様、柱なし、特殊納まりなどのタイプを追加。コンパクトで設置の自由度が高い柱なしタイプや、カーポートとしても使えるワイドタイプまで、豊富なバリエーションが揃いました。さまざまな敷地や設置場所にフレキシブルに対応します。



ポスト、表札、照明ゾーン

スリムモダン

機能ボールがさらに進化!
スリム&スタイリッシュな
奥行110mm

縦格子やポーターなど4タイプの意匠パネルを組み合わせて、個性的なデザインをつくれる機能ボール。奥行110mmと場所を取らないので、限られた敷地のオープン外構にもぴったり。お客様の関心度も高い商品でした。



カーテングート、カーポート・ゾーン

フォグ 4G

機能性+洗練デザイン
後方支持の新しいスタイル

4つのGood (スタイリッシュ、スムーズ&ユニバーサル、ストロング、コンフォータブル) からその名がついた4G (フォグ)。前柱をなくし、後ろの柱のみで支える後方支持スタイルなので、車の出し入れや乗り降りもスマートに。柱が少ないことでデザインもすっきり、開放的でスタイリッシュなカーポートが誕生。お客様も興味津々で、注目度の高い商品でした。



お客様の声

使ってみたい! カーポートの選択肢が広がる

「2本の柱とアームで支える構造がシンプルで美しい。面取りされた柱とか、ディテールのセンスもいい。使ってみたい!」

「新しいカーポートが増えたのはうれしい限りです。お施主様の選択の幅も広がり、こちら提案しやすくなりますから」

強度の確保に苦心 デザインにもこだわりました



マーケティング本部
EX商品マーケティング室
EX商品開発グループ
副主任
保坂 純平

カーポートの柱が前にあると車の出し入れがしにくいので、この前柱をなくすのがテーマでした。しかし後方の柱だけで支持するので、強度を確保するのに苦労しました。強度計算をしてもわからない部分があり、試験しては計算をしない、という繰り返しでした。デザインにもこだわって、「屋根が浮いているイメージ」にしたかったので、完成した商品にはかなり満足しています。

カーテングート

強度と高級感に
使い勝手もプラス

カーテングートもさらに改良。全体に太くして重厚感をもたせました。取手を片手で握るだけで手軽に開き、落とし棒がワンタッチで降りるなど使い勝手もアップ。サンシルバー色や木調仕様などバリエーションも豊かに。



パブリック・ゾーン

リンリンR

出幅2200mmは業界最大!
三方囲いで建築基準法適合は業界初!

オールアルミで、三方囲いタイプで、確認申請が取れるのは業界で初めて。従来より奥行きが広がったので、バイクなどもはみ出さずにすっきりと収納できます。シンプルデザインとシルバー色がおしゃれで、設計事務所様にも好評です。





EXTERIOR VIEW 2009
Vol.39



みんなで止めよう温暖化

「三協・立山ホールディングスグループ」チーム・マイナス6%

 三協立山アルミ株式会社

〒933-8610 富山県高岡市早川70
エクステリア建材本部 情報誌編集室 TEL.0766-20-2560 FAX.0766-20-2071
<http://www.exteriorworld.jp/>